

食農学類教員会議（第 30 回）議事要録

日時： 令和 3 年 1 月 13 日（水） 13 時 30 分～14 時 50 分

場所： Web

【確認事項】

食農学類教員会議（第 27 回）（第 28 回）議事要録について原案のとおり確認した。

【1. 審議事項】

1. 廃試薬処理手順書及び農薬空容器処分手順書の運用について
熊谷安全衛生委員より、資料 1-1 に基づき提案があった。
それぞれの保管方法の違いなどについて説明があり、了承された。
2. 新規開講予定科目について
熊谷教務委員より、資料 1-2 に基づきフードコーディネート論、調理学の開講について提案があり、了承された。
3. 高年次教養科目の選出について
熊谷教務委員より、資料 1-3 に基づき「世界の食料と農業」を高年次教養科目としたい旨の提案があり、了承された。
4. 附属農場の特任研究員公募について
新田教授より、資料 1-4 に基づき提案があった。昨年 12 月末で退職した職員の補充であること、公募内容の詳細などについて説明があり、了承された。
5. 福島大学物品一時使用内規の改定について
松田教授より、資料 1-5 に基づき、物品一時使用の対象機器を追加したい旨の提案があり、了承された。
6. 福島大学客員教授（発酵醸造研究所（仮称）学外諮問委員）受け入れについて（資料：当日のみ）
松田教授より、資料 1-6 に基づき提案があった。候補者 2 名について経歴等の紹介があり、了承された。
7. 食農実践演習Ⅰ未習得者の食農実践演習Ⅱ・Ⅲの履修制限について
石川尚人教務委員より、資料 1-7 に基づき、実践演習Ⅰの単位修得を実践演習Ⅱの履修条件に加える提案があり、了承された。
また実践演習の他にも、連続性のある科目で同様の措置が必要なものについては申し出て欲しい旨のアナウンスがあった。

【2. 報告事項】

1. 運営会議（12/22,1/12）教育研究評議会（12/15,1/5）の報告について
学類長より、大学院改革について教育プログラム検討のワーキンググループ設置が決定し、食農学類からも2名参加すること、また、教員人件費管理の見直し、令和3年度予算案および令和2年度の第三次補正予算などについて報告があった。
イノベーション人材及び教育プログラムについては1/22まで、環境放射能分野の博士課程設置と入学前の履修単位拡充に伴う学則等改正案については1/19までに、意見があれば申し出てほしい旨周知があった。
2. 危機対策本部会議の報告について
学類長より、新型コロナウイルスのクラスター発生に関わる経緯の説明があり、1月からは原則遠隔授業となったこと、それに伴いキャンパス内巡視が中止となること、学類内危機対策チームを再結成することなどについて報告があった。
また、教職員向け年度内対応マニュアルを更新したため確認して欲しいこと、既に発信されている学生向け行動ガイドラインについて、学生たちの受信・読了を確認するための方法を検討することなどの補足があった。
3. 全学教務協議会の報告について
石川尚人教務委員より、資料2-3に基づき、令和3年度の授業、教務関係スケジュール等について報告があった。
その他、対面・遠隔のハイブリッド授業やラーニングポートフォリオなどについて情報提供があった。